

令和 2 年 4 月 1 日
女性総合センターアトム第2学習室

令和 2 年第 2 回
立川市教育委員会臨時会

立川市教育委員会

令和2年第2回立川市教育委員会臨時会

1 日 時 令和2年4月1日(水)

開会 午後 3時27分

閉会 午後 3時38分

2 場 所 女性総合センターAIM第2学習室

3 出席者

教育長 小町 邦彦

教育委員 田中 健一 伊藤 憲春

嶋田 敦子 小林 章子

署名委員 伊藤 憲春

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長 大野 茂 教育総務課長 小林 直弘

学務課長 杉浦 丘美 指導課長 前田 元

統括指導主事 寺田 良太 統括指導主事 川崎 淳子

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係 笹原 康司 柏崎 彩花

案 件

1 協議

- (1) 令和2年度中学校入学式告辞文の修正について

令和2年第2回立川市教育委員会臨時会議事日程

令和2年4月1日

女性総合センターAIM第2学習室

1 協議

- (1) 令和2年度中学校入学式告辞文の修正について

◎開会の辞

- 小町教育長 それでは、令和2年第2回立川市教育委員会臨時会を始めさせていただきます。
署名委員でございますが、伊藤委員、お願いいたします。
- 伊藤委員 はい。承知しました。
- 小町教育長 本日の議案は、協議1件でございます。
次に、出席者の確認を行います。大野教育部長、お願いいたします。
- 大野教育部長 本日、第2回立川市教育委員会臨時会の出席管理職でございます。教育部長、
教育総務課長、学務課長、指導課長、川崎統括指導主事、寺田統括指導主事でございます。

◎協 議

(1) 令和2年度中学校入学式告辞文の修正について

- 小町教育長 早速、1、協議(1)令和2年度中学校入学式告辞文の修正について、を議題といたします。
杉浦学務課長、説明をお願いいたします。
- 杉浦学務課長 では、本件について、ご説明させていただきます。
本件は第3回教育委員会定例会でご承認いただいた中学校入学式告辞文について、社会情勢の変化に伴い不適切な表現となった部分がございますので、修正をしようとするものです。
内容としましては、東京2020オリンピック・パラリンピック大会が延期されたため、お示しした資料の四角で囲んだ部分について、記載内容を差し替えるものです。
よろしくご協議した上でご承認いただきますよう、よろしくお願いいたします。
- 小町教育長 説明は以上でございます。ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。
はい、嶋田委員。
- 嶋田委員 告辞文のことは私も気になっておりまして、新型コロナウイルスのことが入ったほうがいいのではないかなと思っておりまして、今回の変更はとてもいいと思います。
- 小町教育長 ほか、ございますか。田中委員。
- 田中委員 全体的にはこの文章でよろしいのではないかと思います。
1か所だけ少し付け加えていただければと思いますが、後ろから3行目、「どんな困難な状況の中でも人と人が支え合えば乗り越えられる」、この一文がありますが、ここの中で、「支え合い、助け合う」、その言葉が入っていいかなと思っています。あとは全体的にはよろしいのではないのでしょうか。よろしく申し上げます。
- 小町教育長 杉浦学務課長。
- 杉浦学務課長 そのようにさせていただきます。
- 小町教育長 ほか、ございますか。小林委員。
- 小林委員 質問ですけれども、2行目の「小学校生活最後の期間をがまんし、」というのは、

何をがまんしたというのが、気持ちは分かるのですけれども、読み取れないかなというふう
に思うのですが、いかがでしょうか。

○小町教育長 前田指導課長。

○前田指導課長 臨時休業期間を指した言葉だったんですけれども、「3月いっぱいを臨時休業
とした」というところを生々しく書いたり、あるいは「卒業式そのものを簡素化した形で君
たちは卒業してきたんだよね」というような表現を生々しく書いたりするというのはどうな
のかというところで、「3月からいっぴいがまんしてきているんだよね。それできょうの入学
式なんだよね」というところを何とか柔らかく、「でも、みんなちゃんとがまんしてきたんだ
よね」というのを伝えたいというようなところで、かなり苦肉の策で表現したところでござ
います。

○小町教育長 田中委員。

○田中委員 今、指導課長から説明がありましたけれども、私としても、難しい表現を使うよ
りも、むしろ今、課長がおっしゃったほうが子どもの心にはやはり強く残るのではないかと。
いろんなこれまでの苦勞があったわけですから、それを「がまん」という一言の中で、コロ
ナがあったから、自分たちのいろいろな思い出が、本当は残したかったけれどできなかった、
そういう思いもこの「がまん」という中におさまっている。そんな感じで、私はこの「がま
ん」という表現でいいのではないかと、あくまでも子どもに語りかけるわけですから。した
がって適切であると、そんなふうに考えております。

○小町教育長 小林委員。

○小林委員 では、いろいろなことをがまんしと、いま指導課長のお言葉の中にありましたせ
りふを、「いろいろなことを」というふうに入れていただければいいのではないかと思います。

○前田指導課長 分かりました。

○小町教育長 ほかにいかがですか。田中委員。

○田中委員 中ほどに、最も必要なもののひとつである「思いやり」、とありますが、これは学
習指導要領のうえから考えた場合に、思いやり・親切というそういう言葉があるのですが、
その辺りはいかがでしょうか。

○小町教育長 前田指導課長。

○前田指導課長 ここでは道徳科のことも想起したわけですが、子どもたちがこれまでの
日々、前段の「がまん」という部分と価値付けを行いたいというところでこのような表現
とさせていただきまして、道徳科の内容からはこの言葉自体はちょっと離れて使わせてい
ただけたらなというところで、道徳科に限らない、いろいろな意味での思いやりというニュ
アンスで使いたいなというところで置かせていただいているところでございます。

○小町教育長 田中委員。

○田中委員 分かりました。今、ご説明いただいた方向で納得いたしましたので、よろしくお
願いいたします。

○小町教育長 ほか、ございますか。小林委員。

○小林委員 5行目に、「思いやり」の心を養うことにきつとつながります、というのは、まさにこの気持ちが思いやりの気持ちなんだ、思いやりの心なんだということで、「つながる」ではなくて、「これが思いやりの気持ちなんです」とするのはいかがですか。「つながる」というのがどうも。今がそれなんだという、思いやりの気持ちをもっているんだということなんだと思いますけれど。

○小町教育長 田中委員。

○田中委員 今、小林委員から出たその言葉を踏まえて、私はこの言葉でいいのではないかと思います。つまり、思いやりの心を養うことにきつとつながりますと。「きつと」と副詞が入ることによって非常に子どもの気持ちを汲み取った表現ではないかと、そのように思いますので、この文章で進めていただきたいと思います。

○小町教育長 皆さんが経験していることを受けて、きつとつながるということで、今経験していることが、きつとそういう思いやりの心を育てるんだということをここで価値づけしているのかなと思いますので、単につらいということだけではない、それを未来に向けて、それを力にできるんだということを述べているのかなと私も思うので、「つながります」でいいのではないかなと思います、いかがでしょうか。

はい、嶋田委員。

○嶋田委員 別の件ですけれども、4行目の、細かいことですが「家族や仲間を大切にし、」、「し」の後に「、」が入っていて、そのあと長い文章になりますけれども、ちょっと分かりにくいような気もするので、「家族や仲間を大切にし、自分自身も大切にすると、人間としても」と、「という」のあとに「、」にしたほうが若干分かりやすいかなと思いました。

○小町教育長 前田指導課長。

○前田指導課長 そのように修正させていただきます。

○小町教育長 ほか、ございますか。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○小町教育長 ないようでございますので、お諮りいたします。1 協議(1) 令和2年度中学校入学式告辞文の修正について、は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「はい」との声あり〕

○小町教育長 では、修正させていただいたうえで、承認させていただきます。

◎閉会の辞

○小町教育長 以上をもちまして、令和2年第2回立川市教育委員会臨時会を終了いたします。

午後3時38分

署名委員

.....

教育長